

令和5年度

学校関係者評価報告書

令和6年3月

独立行政法人国立病院機構

都城医療センター附属看護学校

平成 19 年 10 月学校教育法施行規則改正により「自己評価」の義務化と「学校関係者評価」の努力義務化が規定された。

令和元年度より自己評価結果の客観性と透明性を高め、本校と密接に関係する方々との理解促進や協力連携による学校運営の改善を図ることを目的に学校関係者評価を実施しており、令和 5 年度も実施したので報告する。

## 1.学校関係者評価委員会

### 1)学校関係者評価委員

- 小川淳子 (学校法人日南学園日南看護専門学校校長)
- 中山秋子 (一般社団法人藤元メディカルシステム藤元病院看護部長)
- 中尾泰子 (同窓会白埴会)
- 宮元恭子 (同窓会白埴会)
- 工藤智子 (在校生保護者)

### 2)事務局

- 吉住秀之 (都城医療センター附属看護学校学校長)
- 石原史絵 (都城医療センター附属看護学校教育主事)
- 草原麻紀 (都城医療センター附属看護学校実習調整教員)
- 一柳明日香 (都城医療センター附属看護学校学科調整教員)

## 2.評価対象期間

- 自：令和 5 年 4 月 1 日
- 至：令和 6 年 3 月 31 日

## 3.実施方法及び公表

学校で取り組んだ自己評価を「自己評価結果」として冊子にまとめ、学校関係者評価委員に事務局より配布・説明を行った。学校関係者評価委員会にて、評価基準に基づき評価項目ごとに評価を実施した。その結果を報告書としてまとめ、学校ホームページにて公表する。

## 4.評価項目及び評価基準

### 1)評価項目

- (1)重点目標
- (2)教育理念
- (3)学校運営
- (4)教育活動
- (5)学修成果

- (6)学生支援
- (7)教育環境
- (8)生徒の受入れ募集
- (9)法令等の遵守
- (10)社会貢献・地域貢献

## 2)評価基準

- ・適切(実施)
- ・ほぼ適切(概ね実施)
- ・普通(問題や課題があるが一通り実施)
- ・やや不適切(少し実施)
- ・不適切(実施していない)

## 5.評価結果

### 項目 1 重点目標

評価 適切

- ・教員の働き方改革については、その日の業務内容に応じて勤務変更を行い、業務時間調整ができており、超過勤務時間が少ない。また、R5年度は業務改善の担当リーダーを教員が行っており、随時業務内容の見直しができています。授業資料など教材づくりに関することは、持ち帰りの業務内容となることもあるが、業務内容を改善していることは評価できる。
- ・看護師国家試験合格に向けての支援として、非常に細やかに取り組まれている。要学習支援者への対応として、R5年度は保護者面接を8月に実施し保護者との連携を図っており、2学期以降の学習成果を出すことができている。

### 項目 2 教育理念

評価 適切

- ・新カリキュラムにおけるカリキュラムルーブリックは3年間の到達目標を示しており、自分の立ち位置を評価するようになっている。このカリキュラムルーブリックに基づき、教育内容を整理し実践されている。様々な評価内容をみると、教育理念、教育目標に沿ったカリキュラムルーブリックであると評価できる。
- ・カリキュラムルーブリックの運用方法として、低学年の学生にとっては高い目標より、到達可能な目標設定があると目指しやすく取り組みやすいと考える。

### 項目 3 学校運営

評価 適切

- ・ハラスメント防止対策については、宮崎県の医療政策課からも各学校へ対応の要請があったが、すでにハラスメントに関する規定、運用マニュアルが整備されている。担当窓口は外部者である病院の管理課長となっており、相談メールを発信できるパソコンが準備されており、適切に運用されている。

#### 項目 4 教育活動

評価 適切

- ・看護研究の学会発表については、4月に計画を立て取り組まれており、学会発表を5題されており、評価できる。
- ・研究授業も取り組まれ、学生にとってよりよい教育活動となるよう日頃より評価されている。ICT教育についても、NHO九州グループの教員間でワーキンググループを作り教材研究や教育方法の検討に取り組んでおり評価できる。
- ・R5年度より、関係法規の講師を弁護士へ依頼し実施されており、関連分野における優れた講師の確保を行っている。

#### 項目 5 学修成果

評価 ほぼ適切

- ・就職率については、NHO就職率が69.7%であり、目標の70%までわずかに到達していない。しかし、昨年度の63.1%からすると向上している。また、宮崎県内の就職率は27.8%であり、例年30%前後を推移している。宮崎県内就職率の目標については、県の助成金を目安として50%と掲げていたが達成不可能な数値であるため、R6年度からは目標値を30%以上に変更する予定である。NHO就職率と県内就職率の目標値があるが、NHO就職率の達成を優先して取り組んでいく。
- ・令和3年度入学生（40名）であり、令和5年度卒業生が36名となっている。4名減となっているが、原級に留まった者2名、休学者1名、退学者1名である。退学者が3年間で1名であることは評価できる。

#### 項目 6 学生支援

評価 適切

- ・学習状況や進路に関する保護者との連携については、入学式、誓いの式などの式典の機会を活用し、状況を説明し、必要な支援内容について共有している。
- ・国家試験受験について、受験までのメンタルケアは充分なされている。受験終了後も教職員と話しをすることにより、落ち込みを軽減できている。国家試験直後の帰路に着くまでの間に、自己採点をして落ち込んでいる様子があった。基本的にはバスの中での自己採点はしないよう説明をしているが、現在は様々な電子媒体が発達しており、学生個々人の行動を規制できるものでもない。今後は、受験直後に採点サイトに入力することのリスク（入力間違いや周囲への影響）を考えた行動ができるよう事前説明を十分に行う。
- ・カウンセリングの利用率向上のために、カウンセリングがどのようなものか知ってもらうことの意味も含め、グループカウンセリングを実施するなど工夫されていることがわかる。ただし、カウンセリングの利用者数が少ないと思われるため、次年度以降カウンセリングが機能するような仕組みを考える。
- ・学生が主体的に取り組む学校祭において、R5年度より感染防止対策も緩和され保護者や地域の方々も参加可能となっているが、来場者数が89名と少ないと思うため、学校PR活動を工夫されるとよいのではないか。

## 項目 7 教育環境

評価 適切

- ・学生による学校評価（中間）の中で、最新の図書が少ないという意見が挙がった。実際は、前年度末に学生・教員の希望図書調査を行い、4月には補充している状況である。図書委員による周知ができていなかったことによるものであった。中間評価での学生からの意見に対しては、再度図書購入の仕組みについて説明し、フィードバックを行っている。
- ・ゼミ室の利用方法について、手続きを簡略化し利用しやすくする工夫がされており、3年生の学習状況やゼミ室利用状況から、学習しやすい教育環境であると判断できる。

## 項目 8 生徒の受入れ募集

評価 適切

- ・昨年の課題であった中学生までを対象とした募集活動について、中学生の職場体験やメヂカルキッズ（中学生）を行い、職業選択の一要因になったとの反応もあったことから評価できる。
- ・オープンキャンパスでは、受験対象者だけでなく、保護者を対象としたものを実施している。
- ・高校へのチラシ発送数を5部程度に増加し、掲示して貰うよう工夫している。
- ・栄美通信を活用した進路ガイダンス参加、高校訪問も大分校まで拡大し全36校訪問しており、直接対話することで、学校の魅力を発信している。
- ・全体的に募集人数は15名の減となったものの、宮崎県18歳人口が減少している渦中では踏みとどまっている。
- ・ホームページを活用した広報活動を閲覧数が増えるタイミングで情報発信すること、男子学生を取り込めるよう男子学生の学校生活を紹介するページを作成していきたい。

## 項目 9 法令等の遵守

評価 適切

- ・法令に基づき調査、報告、申請が計画的に行われている。
- ・昨年度の学校関係者評価結果における課題点に取り組んでおり、改善している。
- ・学校関係者評価結果については、4月にホームページに公開している。

## 項目 10 社会貢献・地域貢献

評価 適切

- ・学生のボランティア活動も新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行したことから、施設におけるボランティア活動ができています。
- ・教員が実施する地域に対する公開講座として、「高齢者体験」「手洗い名人」等実施している。
- ・教員研修の受入れや宮崎県看護協会の実習指導者講習会への講師派遣など、地域貢献に取り組んでいる。

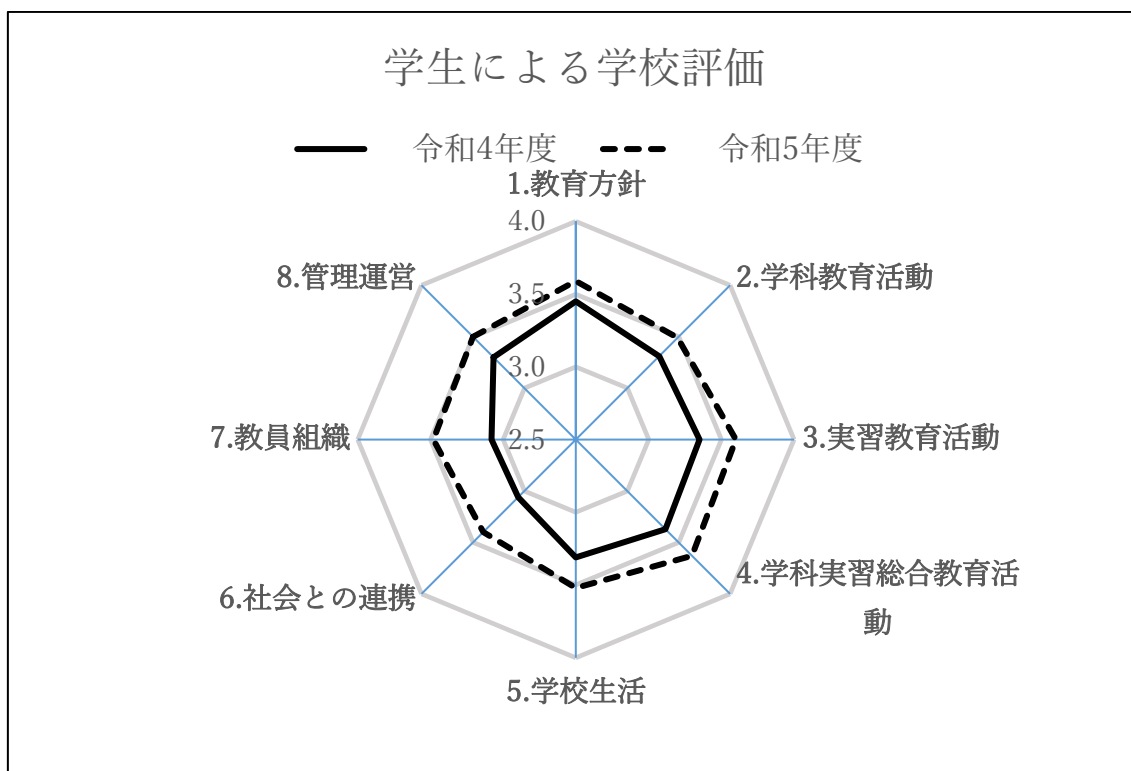
## 6.総括

今年度は、9項目が「適切」、1項目が「ほぼ適切」の評価であった。今年度の学校関係者評価結果より、以下4点の課題が明確になった。

- ①学生募集に関して、引き続き中学生から取り込むこと、保護者向けの学校説明会開催、地域ボランティア活動等を通じて地域への学校PRを図ること。

- ②カリキュラムルーブリックの活用について、学年ごとの到達目標を挙げ、教育内容を具体的に設定し教育活動を行うこと。
- ③スクールカウンセリングがさらに機能するようなカウンセラーの選定、学生の状況に合わせた支援を図ること。
- ④引き続き NHO 就職・宮崎県内就職に向けた支援を行うこと。

令和5年度 自己評価結果



# 教員による学校評価

— 令和4年度    - - 令和5年度

